

はじめに

このたびは、TOTOウォシュレットをお求めいただき、まことにありがとうございます。製品の機能が十分発揮されるように、この施工説明書の内容にそって正しく取付けてください。

- 電気工事が必要な場合は必ず電気工事に依頼してください。
- 商品にはお客様用として、取扱説明書(保証書付)・使い方説明シートを同梱しています。工事完了後、お客様に手渡ししてください。
- 取扱説明書中の保証書には、お買上げ店名又は工事店名及びお取付日を必ず記入してください。

安全上の注意

警告 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡又は重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- 浴室など湿気の多い場所には設置しないでください。(火災や感電のおそれがあります)
- アースは、第3種接地工事(100Ω以下)を行ってください。(感電するおそれがあります)
- 中水道や工業用水の水道に接続しないでください。(皮膚の炎症などを起こすおそれがあります)
- 漏電保護プラグを交流100V(50/60Hz)のコンセントに根元まで確実に差込んでください。またガタついているコンセントを使わないでください。(感電や火災のおそれがあります)

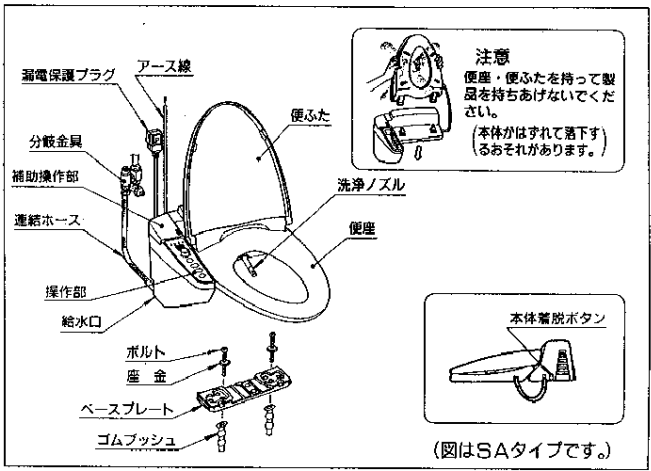
注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

- 連結ホースを折曲げたり、つぶしたりしないでください。(漏水するおそれがあります)

取付前の注意

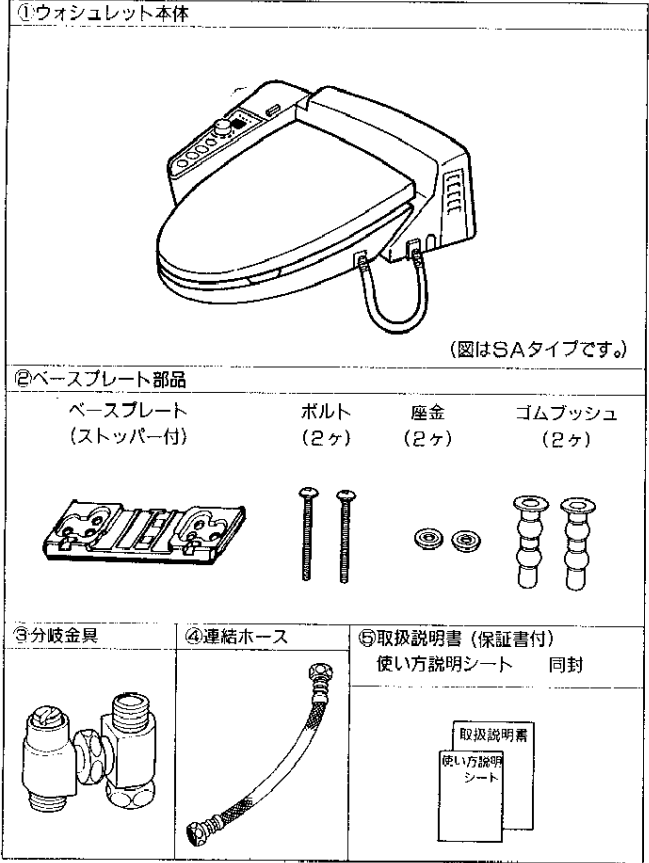
- 電源は、交流100V(50/60Hz)、最大消費電力は576W(SA・SB)、573W(SC)です。必ずこれに適した配線をしてください。
- 電源コードの長さは1.0mです。コンセントは本体のコード取出し位置から0.6m以内の壁面に設けてください。
- 給水圧力範囲は0.05MPa~0.74MPaです。この圧力範囲でご使用ください。
- 給水温度は0~35℃です。この温度範囲でご使用ください。
- 連結ホースの長さは0.97mです。給水取出し位置は、本体の給水口から0.7m以内に設けてください。
- 製品への通電及び通水は取付作業をすべて終えてから行ってください。

各部の名称



部品の確認

まず、次の部品があることを確認してください。



仕様

項目		内容
定 格	電 源	交流 100V 50/60Hz
最 大	消 費 電 力	576W(SA)、576W(SB)、573W(SC)
1 時 間 当 た り の	標 準 消 費 電 力*	32Wh(SA)、31Wh(SB)、32Wh(SC)
電 源 コード (同アース線長さ)		1.0m
洗 浄 装 置	吐 水 量	おしり洗浄 約0.4~1.1L/min(水圧0.2MPaの時)調節可
		ビデ洗浄 約0.5~1.0L/min(水圧0.2MPaの時)調節可
	吐 水 温 度	温度調節範囲 約30~40℃
	ヒ ー タ 容 量	500W
	タ ン ク 容 量	1.0L
	安 全 装 置	温度ヒューズ、温度過昇防止器 空焚き防止フロートスイッチ
	逆 流 防 止	バキュームブレーカー、逆止弁
温 風 乾 燥 装 置 (SA・SCのみ)	温 風 温 度	約40~58℃
	風 量	0.3m ³ /min
	ヒ ー タ 容 量	350W
暖 房 便 座	安 全 装 置	温度ヒューズ
	ヒ ー タ 容 量	50W
	安 全 装 置	温度ヒューズ
脱 臭 機 能 (SA・SBのみ)	方 式	O ₂ 脱臭
	風 量	0.09m ³ /min
給 水 圧 力		最低必要水圧: 0.05MPa (流動時) 最高水圧: 0.74MPa
給 水 温 度		0~35℃
周 圍 使 用 温 度 範 囲		0~40℃
製 品 寸 法	洗 落 し 便 器 用	幅 516mm、奥行 497mm、高さ 280mm
	そ の 他 の 便 器 用	幅 516mm、奥行 527mm、高さ 280mm
製 品 質 量		5.8kg(SA)、5.6kg(SB)、5.6kg(SC)

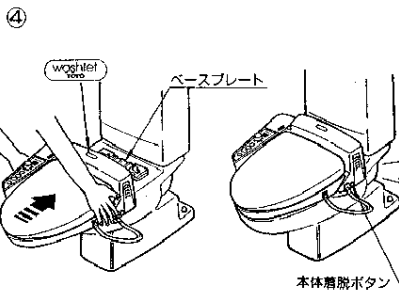
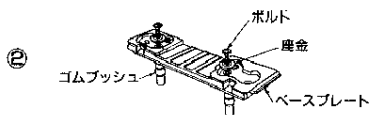
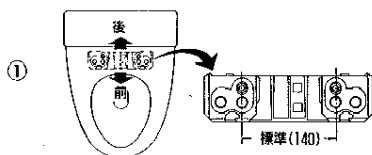
* 1日12回使用で年間平均にて計算しています。

取付方法

1. 便器への取付け

一般の便器への取付け

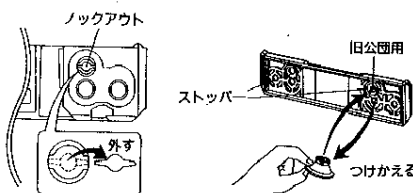
- ①ベースプレートの取付方向を確認する。
●前後と表示している面が表側です。
●前と表示している方を便器の先端側に向けま
す。
- ②ベースプレート表側から座金・ボルトを差し込み、
裏側からゴムブッシュを3山程度ねじ込む。
- ③ゴムブッシュを便器取付穴に差し込み、上面から
ドライバーでボルトをかるく締めておく。
●ゴムブッシュの表面を濡らしておくとし込み
やすくなります。
- ④本体を取付ける。
●本体の(washlet)ラベルとベースプレートの中心
が合うようにして、「カチッ」と音がするまで本
体を押込むと位置が合わせやすくなります。
- ⑤本体がまっすぐに取付くことを確認し、いったん
本体を外す。
●本体は本体着脱ボタンを押したまま手前に引く
と外せます。
- ⑥ベースプレートが便器に当たるまでボルトを本締め
した後、再び本体を「カチッ」と音がするまで押
込む。



⑥ パッキンがぶれて、ベースプレートが便器にあたるまで締付ける。

旧公団用便器への取付け

- 旧公団用の取付穴を使う場合はノックアウト部を取外してください。
- ベースプレートについているストッパーを旧公団用の穴へ付け替えてください。

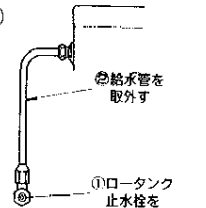


※本体を便器にセットした際、上下左右に若干のガタツキが発生します。これは(本体ワンタッチ着脱方式)を行うために設けたスライド部のすき間によるもので異常ではありません。

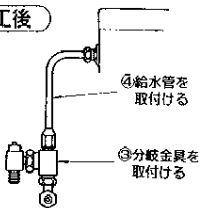
2. 分岐金具の接続

一般のタンクから取水する場合

施工前



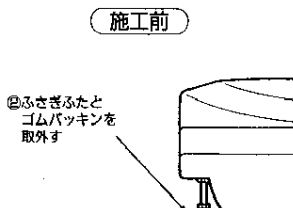
施工後



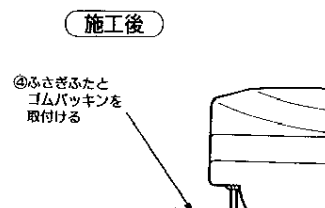
- ①ロータンク止水栓を閉じる。
- ②給水管を取外す。
- ③分岐金具を上図のようにロータンク止水栓に取付ける。
- ④給水管を約10mmの差込代がとれる寸法に切り、接続する。

ワンピース便器から取水する場合

施工前

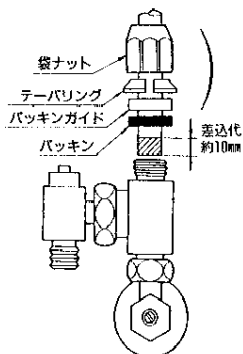


施工後



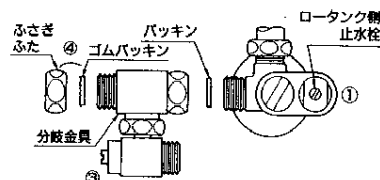
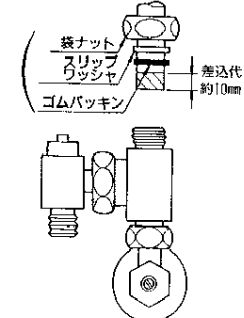
- ①ロータンク止水栓を閉じる。
- ②ふさぎふたとゴムパッキンを取外す。
- ③分岐金具を下図のようにロータンク止水栓に取付ける。
- ④ふさぎふたとパッキンを取付ける。

接続部にテーパリングを使用している場合



※順番、向きを間違えないでください。

接続部にテーパリングを使用していない場合



フラッシュバルブから取水する場合

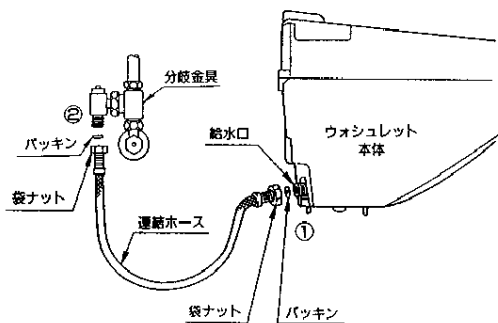
フラッシュバルブから取水する場合は、別売品のTH404(フラッシュバルブの給・排水心径20mm用)又はTH404-1(低圧フラッシュバルブ用)が必要となります。

右給水の隅付タンクから取水する場合

隅付タンクの給水が向って右側の場合は、連結ホースが短いので別売品のTCA14が必要となります。

3. 連結ホースの接続

分岐金具とウォシュレット本体を連結ホースで接続してください。



①ウォシュレット本体の給水口と連結ホースを接続する。
※確実に締付けてください。

②分岐金具の給水取出口と連結ホースを接続する。
※確実に締付けてください。

③本体の取付け・取外しがスムーズに行えるだけのホースの余裕を確認する。

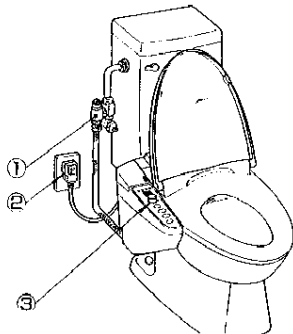
注意

連結ホースは必ず付属のものを使用してください。

(付属以外のホースを使用するとよじれて漏水することがあります。)

試 運 転

取付作業が完了したら次の手順で試運転を行ってください。



1. 水漏れの点検

ウォシュレット側止水栓とロータンク側止水栓を開いて配管から水漏れがないことを確かめてください。



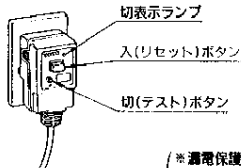
※ウォシュレット側止水栓を全開にしてください。

2. 漏電保護プラグの確認

①漏電保護プラグを100V (50/60Hz)のコンセントに差込んでください。

*ノズルが一旦出て戻る初期動作を行っているか確認してください。

②漏電保護プラグが正常に作動することを確認してください。



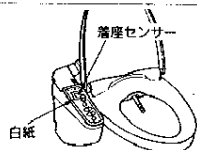
切(テスト)ボタンを押すと切表示ランプが点灯し、入(リセット)ボタンを押すと消灯する動作が正常です。切表示ランプが点灯している状態では通電されませんのでテスト後は必ず入(リセット)ボタンを押してください。

(*漏電保護プラグを落下させてしまった場合などに切表示ランプが点灯する場合があります。入(リセット)ボタンを押してください。)

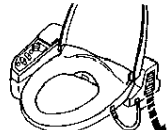
3. 機能の確認

①着座センサーを白紙でおおう

(白紙でおおうと着座センサーが感知した状態になります。)

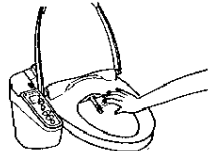


②脱臭機能を確認する(SA・SBのみ)



●本体の右側から風が出ていますか?

③洗浄機能を確認する

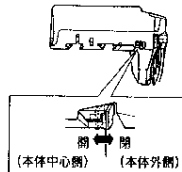


●(1)(2)を押すとノズルから適温の温水が吐水しますか?

吐水は手のひらで受けてください。

(温水タンクが空のときは吐水するまで約1分、温水になるまで約5分かかります。)

※ノズル左側の排水口から水が出るときは水抜きレバーを「閉」位置に移動させてください。



●(3)を回すと水勢が変化しますか?

●本体から水漏れはありませんか?

●(4)を押すと止まりますか?

④乾燥機能を確認する(SA・SCのみ)



●(5)を押すと便座後方から風がでていますか?

●(6)を押すと止まりますか?

⑤暖房便座を確認する

●便座が温まっていますか。

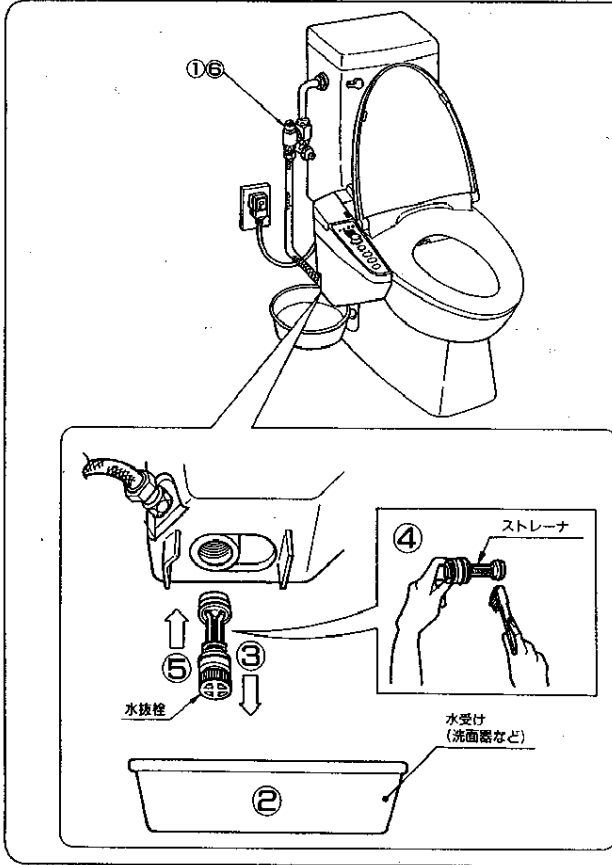
(15~20分かかります。)

⑥着座センサーの白紙をはずす

●着座センサーをおおっている白紙をはずします。

ストレーナの掃除

ストレーナに水あかやごみが詰まるとおしり・ビデ洗浄時の水勢が弱くなります。施工後は必ずストレーナを掃除してください。

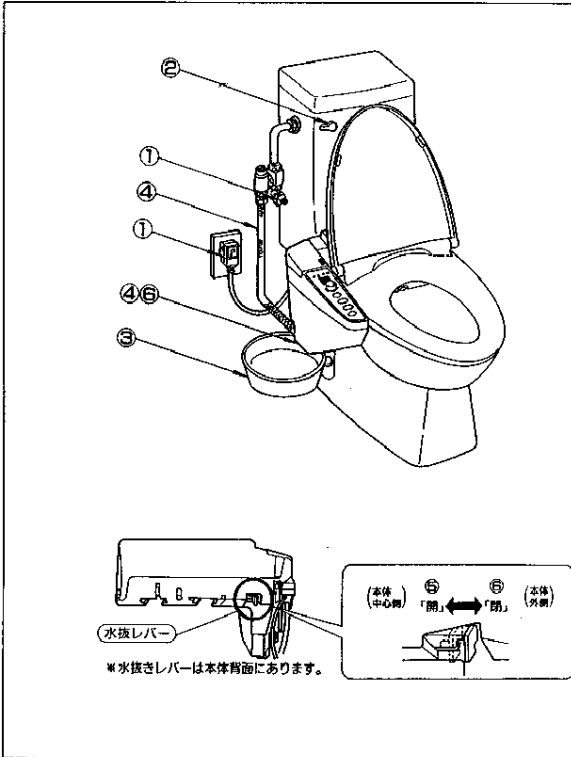


掃除方法

- ①ウォシュレット側止水栓を閉める。
- ②水抜栓の下に水受けを置く。
- ③水抜栓をゆるめた後引き抜く。
- ④ストレーナを歯ブラシなどで掃除する。
- ⑤水抜栓を押しこんだ後、本体側に確実に締付ける。
- ⑥ウォシュレット側止水栓を開けて、漏水がないことを確認する。

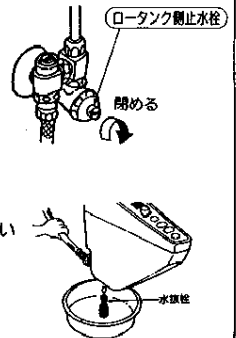
凍結のおそれがある時の処置

お客様に引渡しされるまでに凍結のおそれがある時は漏水事故予防のため水抜きしてください。



水抜き方法

- ①漏電保護プラグを抜き、ロータンク側止水栓を閉める。
 - ウォシュレット側止水栓が開いていることを確認してください。
- ②レバーハンドルを操作し、ロータンクの水を抜く。
- ③水抜栓の下に水受けを置く。
- ④連結ホースの水を抜く。
 - 水抜栓をゆるめた後引き抜いて水を抜いてください。
 - 連結ホースを持ち上げて連結ホース管内の水を完全に抜いてください。
- ⑤温水タンクの水を抜く。
 - 水抜きレバーを「開」位置に移動させ、温水タンクの水を抜いてください。
(水抜きレバーの操作はウォシュレットを便器に取付けた状態で行ってください。)
 - 温水タンクの水はノズル左側から便器内に出ます。
(約1ℓの水が出ます。水抜きは約2分で終わります。)
- ⑥水を抜き終わったら……
 - 水抜きレバーを「閉」位置に移動させてください。
 - 水抜栓をウォシュレット本体側に確実に締付けてください。



工事店様へ

取扱説明書の最終ページの保証書に必要事項を記入のうえ、必ずお客様にお渡しください。ウォシュレットの機能・つかいかたについてお客様に説明してください。新築などお客様に引渡すまでに時間があるときは、電源プラグを抜いておいてください。